



THE Y'S MEN'S CLUB OF

KYOTO PALACE

11
2022

The service club of the YMCA Affiliated with the international association of Y's Men's clubs "To acknowledge the duty that accompanies every right"

心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る

強調月間 ASF YMCA サービス

京都パレスワイズメンズクラブ会長

古川 安雄

「次のステップへ・パレスを楽しもう」

"ALL FOR ONE"

～皆は一人の為に、一つの目的の為に～

国際会長(IP)

K. C. Samuel (India)

「フェロウシップとインパクトで

次の100年へ」

"Into the next 100 Years
with FELLOWSHIP & IMPACT"

「自己を超えて、変化を起こそう」

"BEYOND SELF and BE THE CHANGE"

アジア太平洋地域会長(AP)

Shen Chi-Ming (Taiwan)

「新しい時代とともに、

エレガントに変化を」

"Elegantly Change with New Era"

「今すぐ実行を」

"Doing It Right Now"

西日本区理事(RD)

田上 正 (熊本むさし)

「原点を知り将来に生かす」

"Know the origin and utilize
it in the future !"

「立ち上がれワイズ モットーと共に」

"Stand up Y's Men with our Motto !"

京都部部长(DG)

石倉 尚 (京都キャピタル)

～YMCAで、ひとつになる～

"United by YMCA"

会長 古川 安雄

副会長 谷口 龍一

副会長 堀 靖之

書記 川田 拓志

書記 豊嶋 磨生子

会計 宇野 由香子

会計 大橋 芳夫

https://kyoto-palace.net
Bulletin 2022.11.01発行
第52巻 第5号 通巻601号
CHARTERED 1971



今月の聖句

ローマの信徒への手紙 12章5節

「わたしたちも数は多いが、キリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。」



京都パレスクラブの運営理念

京都パレスワイズメンズクラブ

第25代(1995-96年度)会長 井上 均

パレスクラブのプリテンの表紙に書かれた会長直筆のクラブ運営理念「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る」について、新しいメンバーが多くなった今、もう一度考えたい。

かつてクラブ運営の柱となる考え方を模索していた頃、東京グリーンクラブのチャーターナイトにて小堀憲助先生(中央大学法学部教授)の記念講演「奉仕の精神」を聞き、それに感動した大野ワイズらの要望で、再度1976年10月に第26回北西部会員研修会にて「奉仕クラブについて」と題して小堀先生に講演していただいた。

異業種の社会人が「親睦」のうちに集い、語らうことがより良い社会人を作るのに最も有益な方法であり、この場で自己研鑽に励み、意欲的な奉仕活動を行う。この講演内容がその後のパレスクラブの大きなバックボーンとなった。以下、講演の一部を掲載するのでぜひ読んで欲しい。

例会の必要性

ちがう人達が例会で、心の交わりをいたします時に自分の心の足らざるところを補って立ち去る。そうすると、これはまあ別なことばを通じて言えば、どんな良質な人でも自分の業界に居る限りにおいては井の中の蛙になる。この井の中の蛙を、良質なかかわずを二週間に一ぺんの例会に参集した時に、他の同じ良質な人達のちがった発想との接触の契機をつくるのだということが奉仕クラブの理論づけの一つの重要な柱になっているということ、どうか御理解いただきたいわけです。したがって親睦、親睦とは申しますけれども、これは自己反省でしょ。それからこれは集的にみますと切磋琢磨なんです。だから親睦イコール自己反省、切磋琢磨。切磋琢磨を行ないますと、自己改善、パーソナルベターメントの問題があります。この個々の自己改善のことを、奉仕の心とこういふ具合にいうんです。

だからわたしは「心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る。」これが奉仕クラブの【親睦の原型パターン】である、とこういう具合に述べているわけで、心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去る。しかしここで慎重に考慮していただきたいのは、ことばに酔わないでいただきたいってことなんです。心を求めて例会に至り、境地を得て例会を去るための最大の障害になっているものは何かということをはっきりさせておかなければなりません。

例会出席

在籍クラブ会員数	54名	10月第一例会	35名	10月第二例会	20名
担当主事	1名	内、メンバー	0名	内、メンバー	0名
パレス功労会員数	2名	メネット	0名	メネット	0名
パレス維持会員数	2名	コメット	0名	コメット	0名
月間MU総数	5名	ゲスト	0名	ゲスト	1名
月間出席者数	35名	ビジター	0名	ビジター	0名
月間出席率	74.1%	スピーカー	0名	スピーカー	0名

ニコニコ/ファンド

ニコニコ10月第一例会	2,000円
ニコニコ10月第二例会	円
累計	59,000円
ファンド収益	1,540円
その他収益	0円
累計	71,283円
電気ファンド10月	15,682円
累計	74,324円

10月第一例会は京都クラブとの合同例会でした。ドライバー委員会では、当初堤委員長から「うちはなんにもやらんでええよ、全部京都クラブさんに任せとこ。」と言われていたので、お客様気分で例会に出られるなぁと思っていました。

ところが、事前打ち合わせで利き酒クイズをやることになって「なんにもやらんでもええよ」という訳にはいなくなり、案の定、当日はその準備に追われることになってしまいました。8テーブルに10種類のお酒を配らなければならず、例会前に堤委員長、服部、新納両委員と一緒に懸命に準備をしたのですが、例会が始まるまでに準備が終わらず、食事の時間中になんとか準備が完了というバタバタの状態でした。

それでもなんとか無事に利き酒ゲームも終わり、各テーブルの京都クラブさんとパレスクラブの合同チームも和気あいの良いムードで例会は無事に終了しました。京都クラブの皆様方、楽しいひとときをありがとうございました。



秋の空が高く抜けるような10月30日に京都市役所前広場に於いて、2022～2023年度ワイズメンズクラブ国際協会・西日本区・京都部ワイズデーが開催されました。

今期、京都部部长を務められている石倉部長のご挨拶で幕を開けた今年のワイズデーは、オープニングの京都出身のシンガーソングライター和紗さんの爽やかな歌声でスタート。今期のYMCAとワイズメンズクラブによるSDGs(持続可能な開発目標)への理解と取り組み、ウクライナ国への支援、そして避難民の保護と受け入れ支援への取り組みの解説がなされました。いち日も早く世界中の人達が、子供たちが、穏やかで豊かで幸せな暮らしがおくれる世界になる事を祈ります。

また、各クラブのブースでは日頃の支援先や地域奉仕の活動の様子をパネルや写真等で分かり易く説明していました。我がパレスクラブも若林CS委員長を中心に京都市動物園の象への飼育費の募金箱を手作りして頂き、募金をして頂いた方へはCS委員長自らジャンケンして募金者が勝てばエコバックを進呈するという斬新な方法で、結果¥53,700のご支援を頂きました。

一方、同時に行われた国際協力募金では大森Yサ委員長を中心とする班は三条大橋東詰めで、隠塚ワイズは京都YMCA前で、森田美都子ワイズは会場の京都市役所前広場で奮闘頂き、善意の



募金に協力頂きました。

ワイズデーに向け早くからご準備頂いたCS委員会の皆さん、国際協力募金へご協力頂いたワイズの皆さん、古川会長をはじめ三役の皆さん、そしてご参加頂いたメンバーの皆さん本当にお疲れさまでした。今期のワイズデーは午後4時、盛況の内に幕を閉じました。

2022年10月8日(土) 11:00から、二年ぶりに中西部部会が行われました。会場は大阪北新地のど真ん中に位置するANAクラウンプラザホテル大阪。今期の部会行脚ですっかり大阪に強くなった私は、北新地駅から徒歩5分を信じて20分遅刻(誰のコンパスに合わせた説明か!)

部会講演は今期西日本区理事の田上正様。「救命から看取りまで」が主題。これを聞きに来たといっても過言ではない50分、種子島のご出身で40数年麻酔科医として救命、麻酔管理、ペインクリニックに携わられた経緯は、ユーモアとウィットに富んでおり一度として聴衆を飽きさせない見事な講演内容でした。

エンターティナーは初めて目と耳にするクロマティックハーモニカ。演者が30名のワイズメン外の応援者を部会へ参加させるというEMC含み?の意義ある部会でありました。



第27回 びわこ部部会

2022 10-15 sat. マリアージュ彦根

米増 貴雄

はじめて、びわこ部部会に参加してきました。会場はマリアージュ彦根。冒頭、林びわこ部部長がゴンドラに乗って登場されたのが、とても印象的でした。さすが結婚式場です。

基調講演では白井氏による昆虫採集についての講演で、ロビーには綺麗な色をした昆虫の標本が展示されていました。今回、私が参加したのは、蒲生野クラブの川橋ワイズが当店にご来店くださったことがきっかけでした。蒲生野クラブの方々や他クラブの方々との交流ができ、大変有意義な一日になりました。

最後は、熊本西クラブ、ウエストクラブ、プリンスクラブのメンバーに交じり、楽しい交流飲みニケーションができました。



甲府21クラブ訪問

2022 10-18 tue. 甲府YMCAグローバルコミュニティセンター

前川 健司

初秋の山梨県、ブラザークラブを検討している甲府21ワイズメンズクラブ例会に訪問し、交流してまいりました。(古川会長、米増交流委員長、川上交流委員、前川の4人)

「ワイズソング」で例会がスタート。例会での議事の中心は11月に行われるチャリティバザーについてでした。活発な意見が交わされ、ワイズメンの熱さは全国一緒だと感じました。甲府21ワイズメンズクラブには43名の幅広い年代のワイズメンが所属し活動されています。

今年(10/16)の天皇杯優勝がどこか知っていますか?会員の輿水ワイズがエグゼクティブアドバイザーをされているヴァンフォーレ甲府です。劇的な優勝の熱気も冷めやらぬ中での例会、懇親会で甲府21の結束の強さも体感いたしました。

甲府21ワイズメンのワイズ魂と美味しい甲府ワインを堪能し、京都での再会を約束した夜を過ごしました。



ロスチャイルド家の哲学 講演会

2022 10-21 fri. からすま京都ホテル

渡邊 大介

コロナ禍の影響を受けて2年越しの計画で開催された『ロスチャイルド家の哲学』講演会が、講師にロスチャイルド&カンパニー在日総代表 鈴木英之様をお迎えして10月21日(金)に開催されました。

謎に包まれているロスチャイルド家が3世紀にわたる金融大財閥として君臨し続ける秘訣やロスチャイルド氏が来日された際の微笑ましいエピソード、また最近の世界情勢とそれに対するロスチャイルド家の姿勢など、鈴木様ならではの貴重なお話を伺うことが出来ました。

参加された多くの方にとって仕事への取り組みやプライベートの充実にかかわるヒントを多く頂けたかと思いき、私自身も今後より豊かに生活していくためのアドバイスと受け取りました。

この講演会は鈴木様と大野嘉宏ワイズとのつながりに始まり、パレスクラブメンバーのたくさんのサポートの中、企画担当者として未熟な私も少しだけ成長しながら実現することが出来ました。今回は平日15時30分からのスタートにも関わらず、京都部から多くのワイズメンをはじめ一般の方々も多数お誘いいただいて盛況のうちに終わられたこと、皆様に深く感謝いたします。有難うございました。



ファンドポテト配送

2022 10-23 sun. 京都中央卸売市場

山田 明典

10月23日の日曜日、ファンド委員会活動のメインイベントとなるファンドポテトの配達が行われました。

天候にも恵まれ、荷積みも手際よく行われ、車両の大きさの関係で私は和敬学園方面への配達を担当しましたが、和敬学園担当の方から「おいしく頂きます!」とお言葉をいただき、いつもはダラダラと過ごす日曜日の朝を気持ちよく過ごす事ができました。

日曜日の早朝からの集合にもかかわらず、参加されたメンバーの皆様、お疲れ様でした!



～助け合う世界を創るYMCA国際協力募金～

物価が上がって生活が苦しくなっているのに、なぜ外国の人に募金しなければならないのか。コロナや戦争で先の見えない時代に国際協力どころでない、という声を聴くことがあります。でも、そんな時だからこそ、国際協力が大切なのではないのでしょうか。

深刻化する世界の貧困、拡大する格差

格差が拡大する中で、経済的に恵まれている世界の上位10%の人々が世界の富の76%を独占しており、この文章を読んでおられるほとんどのの方がその10%に含まれています。私たちの豊かな生活が、途上国の貧困の一因となっているとも言えるのです。

YMCAの国際協力

日本YMCA基本原則には「私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます」とあります。植民地支配、侵略戦争といった過去の負の歴史に向き合うのと同時に、現在、未来においてYMCAだけでなく広く「世界の人々と共に」協働していくことが表明されています。

YMCAの国際協力募金

YMCA国際協力募金は、お金を集めるだけではなく、どのような課題が世界にあって、私たちの暮らしといかにつながっているのか、そして、課題の解決のために私たちにできることは何かを考える機会にもなっています。明日の見えないこの時代こそ、助け合う、支えあうのが当たり前の世界にしていく。その一つの取り組みがYMCAの国際協力募金です。

以上
YMCA News (京都青年) 2022年10月号
公益財団法人アジア福祉教育財団
難民事業本部関西支部 中尾秀一さんの文章より
抜粋 全文はこちらから↓
<http://kyotoymca.or.jp/?p=8142>



お預かりする募金は、ウクライナから日本に避難された方々への支援など、世界各地のYMCAが展開する教育活動、貧困者支援、難民支援に用いられます。みなさまのご協力よろしくお願いします。

募金の方法

1. YMCA各フロア受付
2. 口座振込
郵便振替 01050-7-19132
京都YMCA奉仕活動基金
通信欄に「国際協力募金」とお書きください。

10月役員会議事録

- | | |
|--|--|
| <p>第1号議案 10月第2例会(振替例会)2022~2023年度京都部ワイズデーの件(CS)【承認】
10月30日(日)京都市役所前広場にて
SDGsに因んだ地域奉仕事業ブースの展示(エコバッグ等の提供)</p> <p>第2号議案 11月第1例会(通常例会)の件(ドライバー)【承認】
11月9日(水)19:00~21:00 ホテルオークラ京都にて
ゲストスピーチ 嵯峨野観光鉄道株式会社 初代代表取締役 長谷川一彦氏</p> <p>第3号議案 11月第2例会(通常例会)の件(ドライバー)【承認】
11月23日(水)19:00~21:00 ホテルオークラ京都にて
音楽例会の形式 (ゲスト テノール歌手 加藤ヒロユキ氏)</p> <p>第4号議案 クリスマス例会PTの件(ドライバー)【承認】
12月25日(日)に開催予定のクリスマス例会に向けてPTを設置</p> <p>第5号議案 ファンドじゃがいも販売の件(ファンド)【承認】
10月23日(日)京都市中央卸売市場から有志メンバーによる購入者宅への配達を実施</p> <p>第6号議案 リトセンオータムフェスタの件(Yサ)【承認】
11月20日(日)11:00~14:00 京都YMCAリトリートセンターにて
出店によるオムライスの提供等の予算を承認</p> | <p>第7号議案 第5回京都YMCA主催_チャリティーゴルフの件(Yサ)【承認】
2023年1月27日(金) センチュリー・シガ・ゴルフクラブにて
公益財団法人京都YMCA主催により実施。パレスメンバー有志による参加に対する登録補助費を承認</p> <p>第8号議案 国際協力募金の件(Yサ)【承認】
国際協力募金への寄付を承認。11月第1例会において贈呈予定</p> <p>第9号議案 山本一博君へブリテン・記念誌 pdf 化の費用を拠出する件(会長)【承認】</p> <p>第10号議案 ラオスYMCAプロジェクト特別委員会設置の件(会長)【承認】
委員長:吉岡幸次、副委員長:森田美都子(アンバサダー)、古川安雄(現役会長は副委員長に)
委員:大野嘉宏、山本一博(会計担当)、小林千春(書記担当)、藤松幸一、を役付とし発足することを承認</p> <p>第11号議案 IBC解除の件(交流)【承認】
クバチーノ・ノースウエストクラブおよび香港・カオルーンクラブとのIBCを解除</p> <p>第12号議案 ブリテン10月号増刷に係る費用拠出の件(広報)【承認】</p> |
|--|--|

NOVEMBER

Happy Birthdays!

19 西川 寿一

Congrats!

Happy Anniversary!

01 藤松 幸一・三佳

03 小櫻 武彦・八重子

11 堀 靖之・香織

12 小森 由子・雅晴

17 小西 孝典・和子

22 大森 夏彦・由美子

23 堤 雄次・良枝

30 隠塚 功・文香

30 櫻井 啓孝・雅

EVENT SCHEDULE

- 11-02 Wed. 52期第5回11月役員会
- 11-05 Sat. 東京グリーンクラブ神田川船の会
- 11-06 Sun. 京都ウイングクラブ35周年記念例会
- 11-09 Wed. 11月第一例会(通常例会)
- 11-12 Sat. 京都クラブ75周年記念例会
- 11-12 Sat. 六甲部部会
- 11-20 Sun. リトセンオータムフェスタ
- 11-23 Wed. 11月第二例会(通常例会)
- 12-11 Sun. インターナショナル・チャリティーラン2022

編集後記 日ごと秋色が深まっていきます。今年もあと二か月となりました。最近、歳の近い知人の急逝が相次ぎ、時の移ろいの速さと儚さをを実感する今日この頃です。(高岡)